

教科名	保健体育	科目名	体育理論	履修学年	中学	2年	全組		
単位数	週あたり1時間	使用教科書 補助教材等	大修館書店『保健体育』						
担当者	松本 萌		大修館書店『ステップアップ中学体育』						
学習目標	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と知識を深めるとともに、社会の変化に伴ってスポーツの重要性がより一層高まっていることを認識する。運動や各競技についての理解を深め、それらを実践に生かすことができるようにする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。		健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。		健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	定期考査 各学期の評価は、実技体育の成績と合わせて教科全体での評価として算出する。		定期考査、ワークシート、実技テスト		授業態度、実技テスト				
学期末の 各観点比率(%)	60%		20%		20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	1、運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの必要性和楽しさ ・運動やスポーツへのかかわり方					10	1 学期 期末 考査	
	5	・運動やスポーツの多様な楽しみ方							
	6	2、運動やスポーツの効果・学び方・安全 ・運動やスポーツの体と心への効果 ・運動やスポーツの安全なおこないかた ・運動やスポーツの学び方							
	7	・スポーツのルール・調べ学習							
	8								
2	9	3、文化としてのスポーツ ・現代生活におけるスポーツの意義 ・国際的なスポーツ大会の意義と役割					10	2 学期 期末 考査	
	10	・オリンピックを学ぼう ・人びとを結ぶスポーツ							
	11	I、柔道(実技) 礼法 受け身 投げ技・固め技							
	12	実技テスト							
3	1	II、リズムダンス(実技) 1 リズムに合わせて身体を動かす 2 基本のステップを身につける					5	6(強歩大会)	
	2	3 自分たちで創作してみる 4 グループで発表							
	3	III、ダンス ソーラン節(実技) 実技テスト							

教科名	体育	科目名	体育	履修学年	中学・高校	2年	全組		
単位数	週あたり2時間	使用教科書 補助教材等	ステップアップ中学体育（大修館書店）						
担当者	深見雅子 齊藤周								
学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。		運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	実技テスト		実技テスト、学習カード、活動の観察		学習カード、授業態度				
学期末の 各観点比率(%)	60%		20%		20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	体づくり運動 体力テスト 陸上競技 ・短距離走 ・長距離走					22	実技テスト等	
	5	・ハードル走 ①50m走、80m走 ②80mハードル ③リレー							
	6	・走り幅跳び ①800m走、1000m走 ②3分間走、5分間走、7分間走 ③走り幅跳び							
	7	水泳 ①水慣れ、クロール ②背泳ぎ、平泳ぎ							
	8								
2	9	水泳 ③背泳ぎ、平泳ぎのテスト（フォーム・タイム） 体育祭練習 ・台風の日 ・各種目					23	実技テスト等	
	10	球技 ・バレーボール ・バスケットボール							
	11	①基本動作・ルールの解説 ②アンダー・オーバーハンドパス ③アタック ④ゲーム							
	12	⑤実技試験 ⑤実技試験							
3	1	・ソフトボール ①ルールの解説 ②サッカー ①基本動作・ルールの解説					9	実技テスト等	
	2	②捕球・送球の練習 ③ドリブル・パス・シュート ③簡易ゲーム							
	3	④バッティングの練習 ④実技試験 (捕球・送球・バッティング) ※ゲームは行わない。 ④戦術の理解 ⑤ゲーム ⑥実技試験							